

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	103500
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	交通安全女性連絡協議会補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	交通安全女性連絡協議会補助金交付要綱		(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
③支出先	関市交通安全女性連絡協議会		(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市交通安全女性連絡協議会		に対して	
	手段	交通指導研修		を行うことで	
	受益者	関市交通安全女性連絡協議会委員		が(を)	
	意図	知識の習得、資質向上		という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 3 年度	
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	300	300	271	300	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	<input type="radio"/> 定額補助・負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	358 千円		R1歳出決算額	358 千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合	75.7 %		翌年度繰越額 0 千円		
	決算額を把握していない					

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成には至っていないが促進されている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	比較的大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	啓発グッズ作成等の活動について、広報や新聞によりPRしているが、まだ活動が知られていないため、より積極的なPRが必要である。		

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135100
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	消防友の会		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
②支出の根拠	関市消防友の会補助金交付要綱			(5)個人に対する補助金・負担金	
③支出先	関市消防友の会			(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市消防友の会		に対して	
	手段	消防防災活動の支援、協力と防災知識の教養、防災意識の高揚、啓発を図る		を行うことで	
	受益者	市民		が(を)	
	意図	安心して暮らせる		という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 59 年度	
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="radio"/> その他 ( )		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1会員 あたり	1,000 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	280	280	273	280	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	平成24年度に20千円円削減を行った。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	641 千円	R1歳出決算額	641 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		42.6 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="radio"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/> 4 統合を検討	<input type="radio"/> 5 終期を設定	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	平成27年度に洞戸支部が設立され16支部となった。		

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135100
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市消防団運営事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	消防団			に対して	
	手段	消防団活動費補助			を行うことで	
	受益者	消防団			が(を)	
	意図	消防の目的を遂行するための各種事業等を実施する			という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 59 年度		
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ( )	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	17,450	18,408	18,229	18,013	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	団に必要な予算によってその都度、見直しをしている。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	19,636 千円	R1歳出決算額	19,636 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		92.8 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	分団の運営費として活用していた団員報酬を令和3年度より個人支給することに伴い、運営費の額を検討・調整していく必要がある。		

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135100
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市幼年消防クラブ連絡協議会補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	関市幼年消防クラブ連絡協議会補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
②支出の根拠	関市幼年消防クラブ連絡協議会補助金交付要綱			(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
③支出先	関市幼年消防クラブ連絡協議会			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	幼年消防クラブ会員			に対して
	手段	活動がより効果的に実施されるために、その運営指導について研究、助言			を行うことで
	受益者	幼年消防クラブ			が(を)
	意図	健全な育成発展を図り、もって火災予防思想の普及			という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 42 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 ( 関消防署 )	
⑧構成員の負担	負担なし		○ 負担あり	負担額	1人 あたり 100 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	253	253	216	253	単価を定めている→算式	
②過去における見直し状況	必要な予算によってその都度、見直しをしている。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	584 千円		R1歳出決算額	584 千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合	37.0 %		翌年度繰越額 0 千円		
	決算額を把握していない					

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	効果が一過性のものとならないような取組とする必要がある。		

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135100
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市女性防火クラブ補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
②支出の根拠	関市女性防火クラブ補助金交付要綱		(5)個人に対する補助金・負担金		
③支出先	関市女性防火クラブ		(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市女性防火クラブ会員			に対して
	手段	消火方法等技能習得			を行うことで
	受益者	地域住民			が(を)
	意図	防火・防災思想の高揚と地域の隣保協力体制、連帯意識の一段の高揚を図り、災害のない明るい安全な地域と家庭を築く			という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 42 年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課	主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	200	200	196	200	単価を定めている→算式		
②過去における見直し状況	平成24年度に160千円削減を行った。					○定額補助・負担	その他 ( )
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	232 千円	R1歳出決算額	232 千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		84.5 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	比較的大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	少しずつ自発的な活動を行うことができるようになったが、高齢の会員が多く、若くて長く活動を継続できる会員の確保が難航している。		

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135500
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	防衛協会関支部事業補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	岐阜県防衛協会関支部			に対して	
	手段	防衛問題に関する調査研究を行ったり、防衛講演会・研修会等の開催、自衛隊の主要な行事等に対する支援・協力			を行うことで	
	受益者	市民			が(を)	
	意図	防衛意識の高揚を図り、防衛基盤の育成強化に寄与するとともに、自衛隊の活動を支援・協力する			という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和	52	年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	1人	あたり 2,000 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	10	10	10	10	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他 ( )
②過去における見直し状況	当協会への一般負担金を平成22年度より削除し、平成23年度以降10,000円/年の補助とした。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	300 千円		R1歳出決算額	300 千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		3.3 %		決算額を把握していない	
R1歳入に占める補助・負担金の割合		3.3 %		決算額を把握していない		翌年度繰越額 82 千円

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	疑問
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	検討を要する
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	一定の成果あり
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	影響なし

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助・負担内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135520
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	自主防災会防災訓練助成		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金	
				<input type="radio"/>	(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	地域の自主防災会			に対して	
	手段	防災訓練			を行うことで	
	受益者	地域住民			が(を)	
	意図	隣保共助の精神に基づき、自主的な防災訓練を実施する			という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 1 年度		
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	576	482	654	1,000	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ( )
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	千円	R1歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		%	<input type="radio"/> 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	比較的少ない	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	平成27年度に1自主防災会につき補助できる回数を4回から1回に変更した。平成28年度より補助金の額を、自主防災会を構成する自治会の数に5千円を乗じて得た額又は対象経費の総額(千円未満切捨て)のいずれか低い額に変更した。※上限は20万円		

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135520
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市自治防犯防災会補助金		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)			
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)			
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金			
				<input type="radio"/>	(6)その他			
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市自治防犯防災会員					に対して	
	手段	防犯、防災知識の啓発、各種訓練への参加					を行うことで	
	受益者	地域住民					が(を)	
	意図	安全・安心					という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和	56	年度		
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="radio"/>	その他 ( )		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1世帯あたり 約 40 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	60	60	60	60	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="radio"/>	その他 ( )
②過去における見直し状況	平成22年度から補助額を半分にした。							
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	1,342 千円		R1歳出決算額	1,310 千円		翌年度繰越額	32 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合			4.5 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/>	4 統合を検討	<input type="radio"/>	5 終期を設定	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	青色パトロール車の運転について、交通の安全面について考えると会員の若返りが望ましい。 令和元年度より、青色パトロール車にドライブレコーダーを取り付けた。					



令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135520
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市防災指導員連絡協議会運営補助金		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)			
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)			
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金			
				<input type="radio"/>	(6)その他			
②支出の根拠	関市防災指導員連絡協議会運営補助金交付要綱							
	関市防災指導員連絡協議会							
③支出先	関市防災指導員連絡協議会							
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市防災指導員					に対して	
	手段	研修・講習会、情報交換					を行うことで	
	受益者	地域自主防災組織					が(を)	
	意図	育成指導、教育訓練を実施し、地域住民に防災知識が普及する					という状態にする	
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和	56	年度		
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ( )		
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	84	94	99	100	単価を定めている→算式	
			<input type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="checkbox"/>	その他 ( )
②過去における見直し状況	平成26年度から平成28年度まで、防災士資格取得に必要な研修費用の補助を行うために補助金を増額した。平成29年度から研修費用の補助に関しては、防災指導員連絡協議会事業補助金とは別の補助事業としたため減額。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	100千円	R1歳出決算額	100千円	翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		99.0%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4統合を検討	<input type="checkbox"/>	5終期を設定	<input type="checkbox"/>	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135500
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市耐震貯水槽消火隊連絡協議会運営補助金		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
	関市耐震貯水槽消火隊連絡協議会運営補助金			<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市耐震貯水槽消火隊連絡協議会運営補助金 交付要綱			<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
	関市耐震貯水槽消火隊連絡協議会			<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
③支出先	関市耐震貯水槽消火隊連絡協議会			<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="radio"/>	(6)その他		
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市耐震貯水槽消火隊連絡協議会					に対して
	手段	防災知識及び技術の向上					を行うことで
	受益者	各耐震貯水槽消火救助隊					が(を)
	意図	大規模災害時における防災活動に万全を期する					という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	9	年度	
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ( )	
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	715	762	771	1,150	単価を定めている→算式	
			<input type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="checkbox"/>	その他 ( )
②過去における見直し状況	平成23年度までは、各隊に謝礼として一律3万円を支払っていたが、平成24年度から活動補助として実績に応じた補助金に変更した。					
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	1,150 千円	R1歳出決算額	1,150 千円	翌年度繰越額	0 千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		67.0 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135520
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	自主防災会資機材整備事業助成		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)			
	②支出の根拠	関市防災資機材整備事業補助金交付要綱		<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)			
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)			
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)			
				(5)個人に対する補助金・負担金			
				(6)その他			
③支出先	各自主防災会						
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	自主防災組織			に対して		
	手段	防災資機材の購入整備に要する一部負担			を行うことで		
	受益者	自主防災組織			が(を)		
	意図	防災意識の高揚と自主防災組織の強化を図る			という状態にする		
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 20 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ( )				
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	事業に要した経費 あたり	1/2	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	<input type="radio"/> 補助・負担率を定めている→補助率	1/2(上限200千円)
	2,527	1,933	2,242	2,500	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式	
				定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ( )	
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	千円		R1歳出決算額	千円	
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		%		<input type="radio"/> 決算額を把握していない	
				翌年度繰越額	0千円	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適切
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和元年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	危機管理課	室・部・局	市長公室	予算事業コード	135800
-----	-------	-------	------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市防災行政無線戸別受信機設置費補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	関市防災行政無線戸別受信機設置費補助金交付要綱			(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
②支出の根拠	関市防災行政無線戸別受信機設置費補助金交付要綱			(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
③支出先	関市防災行政無線戸別受信機を購入する市民			(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				○(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市防災行政無線戸別受信機の設置を希望する市民			に対して
	手段	戸別受信機の購入整備に要する費用の一部負担			を行うことで
	受益者	関市防災行政無線戸別受信機の設置を希望する市民			が(を)
	意図	災害時の情報収集手段を確保できる			という状態にする
⑥期間	H 31 年 4 月 1 日 ~ R 2 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 31 年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課	主に支出先団体	その他 ( )		
⑧構成員の負担	負担なし	○負担あり	負担額	事業に要した経費 あたり	1/2 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H29決算	H30決算	R1決算	R2予算	○補助・負担率を定めている→補助率	1/2(上限70千円)
	-	-	201	3,500	単価を定めている→算式	
		定額補助・負担	その他 ( )			
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	R1歳入決算額	千円	R1歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0千円
	R1歳入に占める補助・負担金の割合		%	○決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助・負担率は適正か	検討を要する
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	1現状のまま継続	○2補助・負担内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			